

決算を チェック

委員会での
審査の概要を
お伝えします。

国保税 今後の見通しは

問 国民健康保険税の収納率は少しずつだが上がっており、非常に評価できる点である。その一方で、国保加入者は減少しているが、保険給付費は増加している状況である。国保税を上げなければならぬ状況が来るのではないかと心配する。今後の見通しはどうか。

町民課 医療費は国からの交付金で補てんされる。財源が確保できているため現時点では税率を上げることは考えていない。
問 どうしても人が減っていくため、どんどん収入が減ると思う。常にある程度余剰金がないと突発的なことには対応できない。そういったことも考えているのか。
町民課 近い将来、財源が不足することも考えられるので、さらに健全な運営に努めたい。

農業・水産業の振興

取り組みの考え方は

問 2年度はどのような考えで農業・水産業振興に取り組んできたのか。
農林課 東日本大震災以降実施してきた農地の災害復旧工事や圃場整備はほぼ完了した。現在、課題になっているのは担い手不足である。3年度からは新たに、担い手育成事業をスタートさせ、1名がこの事業を活用して研修を行っている。

水産商工課 町内漁協・県・町で山田町漁業就業者育成協議会を組織し、研修の受け入れ事業を行っている。研修後、漁協の正組合員になった方には豊かな浜の担い手育成支援事業で新規就業者に補助金を出して支援している。2年度の実績は3名である。



将来が期待される新規就業者

ふるさと納税

寄附者の意向は

問 ふるさと納税は使い道特定して寄附される方もいるが、山田ではどの項目が多いのか。
財政課 一番多いのは「町長におまかせ」ということで、使い道特定しない寄附である。使い道特定する寄附を多い順

※ 2年度のふるさと応援寄附金の総額は、1億6992万840円でした。皆様のおかげで皆様への感謝申し上げます。

に3つ挙げると、産業振興、子育て支援、環境・生活基盤整備である。

フッ化物洗口

やらなかった理由は

問 2年度の実績はゼロで、希望する学校がなかったようだが、なぜか。
健康子ども課 これまでは統合前の山田北小学校と大浦小学校で実施してきた。町としては全地域に広めたく、学校と協議をしてきた。2年度は、これまでやってきた学校

が統合によりなくなり、統合後間もないことから山田小学校では行事等との調整が難しく、フッ化物洗口が実施できなかった。

要望 フッ化物洗口は良いことだと思うので、今後はぜひ推進していただきたい。